



驚異の
学習メソッド

全国250校以上の学校、
1000教室以上の学習塾が正式採用!

論理エンジン



国語はセンスではない!
「日本語」の規則を
意識すれば、
国語の力は必ず伸びる!!

『日本語』を母語とする私たちは、『日本語』でものを考え、『日本語』で読み書きし、『日本語』で他者に伝えます。つまり、日本語の力がすべての力の土台となっているのです。

しかし、現在の教育では、子どもたちに正しい日本語を身につけ、自ら思考する力、筋道を立てて考える力をきちんと教えられていません。

だからこそ今、日本語で筋道を立てて考える力、つまり『論理力』を鍛えることが必要なのです。意図的に日本語を学ばなければ、国語は伸びないのです。規則にしたがった正しい日本語を使えるようになれば、国語はもちろんのこと、日本語で書かれている全ての教科の成績がアップします。

まさに『論理力』は全ての教科の土台であり、生涯の武器になり得る力なのです。

【開発者】 出口 汪



学参累計売上700万部以上のカリスマ現代文講師による
最強の国語学習ツールです!!

「論理エンジン」の特長

Point ① 一文の要点「主語・述語」をつかまえる

Point ② 言葉のつながりを意識する

Point ③ 一文の構造をつかまえる

Point ④ スパイラル方式とクイズ感覚を活用する

Point ⑤ 文と文との論理的関係をつかまえる

Point ⑥ イコールの関係をつかまえる

Point ⑦ 対立関係をつかまえる

Point ⑧ 因果関係をつかまえる

Point ⑨ 意味段落から文章全体の論理構造へ

Point ⑩ 心情を把握する

論理エンジンで学習すれば、
国語の読解問題など
簡単に解けるようになります！

詳細は、論理エンジン公式HP

「論理.jp (<http://www.ronri.jp>)」を
ご参照ください。

試しに、この問題を解いてみて下さい。

問題

次の問いに答えなさい。

「独裁者」という映画で、ヒトラーそっくりに扮したチャップリンが地球儀の形をした大きなふうせんを、けりながら踊るシーンがありました。世界を征服しようとする狂気の独裁者が、なんとも言えず不気味で愚かに見える名シーンです。

問 次のへ～の中に肯定か否定かを、そして（ ）の中には右の文章から抜き出して言葉を書き込みなさい。

——線の「シーン」に対する筆者の立場はへ～である。
それは（ ）という言葉から、判断できる。

考えかた

「不気味で愚かに見える」という部分から、くゝ部には、おそらく否定と答える人が多いのではないのでしょうか。でも、それは誤りです。

「愚かに見える」の主語は、「独裁者」です。ということは、筆者は「狂気の独裁者」に対しては「愚か」と否定しています。ですが、設問は「シーン」に対して肯定か否定かを問うています。

では、「シーン」に対して、イコールの関係にあるのはどこかといえば、「愚かに見える名シーン」となります。筆者は、「シーン」については「名シーン」と述べているのです。従って、くゝ部の解答は肯定となります。（ ）部の解答は、名シーンです。

おわかりでしょうか。

文章を読み、設問に答えるときは何となくではなく、言葉のつながりを考えて解くべきなのです。左の問題も、「主語－述語」と「イコールの関係」を理解していれば簡単に解答することができるのです。

**これが、「論理的に読み解く」
ということです。**

- 特長1** 初期投資・ロイヤリティゼロ！ インターネット環境だけで、シンプル＆低コストで導入できます。
特長2 出口汪の詳細な講義と解説の図式化により、「論理」を目と耳で理解。確実な成績上昇がのぞめます。
特長3 著作累計発行部数700万部！信頼の出口ブランドは生徒募集にも効果が波及します。

講義システムについて ①

出口汪のノウハウが詰まった解説を図式化

映像は、1レベル、約40分間の解説講義で構成されています。映像内では、問題文を構造からアプローチし、わかりやすく図式化。一文の要点の抜き出しから文章の論理構造の分析まで、「論理エンジン」を目と耳で理解するための仕掛けが満載です。

文章中の「具体例」から「一般化」までの流れを図解。



講義システムについて ②

各レベルの学習内容やねらいも図示しながら説明

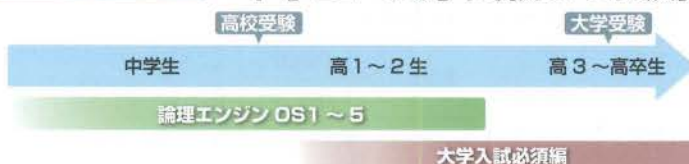
単に設問を解くためだけではなく、各レベルで学習する要素や、なぜその内容を学習しなければならないのか、といった説明も、詳細に行っています。

学習する上で特に大切な点を、出口の解説とともに表示。



コース設定について

中学生～大学受験まで長期間指導が可能



高校受験を終えた中3生に対して、大学受験まで対応したコースの提供が可能となり、高校入学後も引き続き受講していただけます。

受講生成績の推移の一例

高3女子	全国模試（現代文）	37点 → 88点	51点UP
高2男子	定期テスト（現代文）	71点 → 99点	28点UP
中3女子	定期テスト（国語）	74点 → 93点	19点UP
中2女子	定期テスト（国語）	39点 → 60点	21点UP
中3女子	Wもぎ（国語偏差値）	57 → 66	9point UP
中3女子	Wもぎ（国語偏差値）	55 → 61	6point UP

現代文が得意な生徒はさらに点数を伸ばし、苦手だった生徒も着実に成長しています。

論理ネットで学習することでこのような目覚ましい効果を上げることができます！ぜひ一度ご体感ください！

Q & A 論理エンジンで採用にあたっての疑問にお答えします

Q 小学生でも使えますか？

A 本冊中には、「主語」「述語」「接続語」といった文法用語が使用されています。また、評論文を多数取り上げていますので、目安としては中学生からのご使用をお勧めしています。しかし、こうした点のフォローができる環境ならば、「論理エンジン」は本来無学年制の教材ですので、小学生からでもご使用いただけます。また、小学生版として、「読解・作文トレーニング」もございますので、併せてご検討ください。

Q 途中から、またはPSから学習しても良いのでしょうか？

A まずはOS（レベル1～50）を学習し、基本的な論理的読解の技術を習得して下さい。このOSこそ、全ての教科に共通する論理力を獲得可能にする本教材の核です。PS（レベル51～100）は、OSで身につけたことを受験で生かすための具体的なテクニックを学ぶ実践編です。

Q はじめの方は「主語」「述語」など簡単そうなので、飛ばしたい。文法問題ではないのでしょうか？

A 一見、ただの文法問題に見えますが、ここでいう「主語・述語」は、文の要点を押さえるため、つまり文章読解のツールだという考え方です。ここで基礎を固めないと、将来レベルが上がった時の応用が利かなくなります。簡単そうに見えても、飛ばさずに順を追って進めてください。

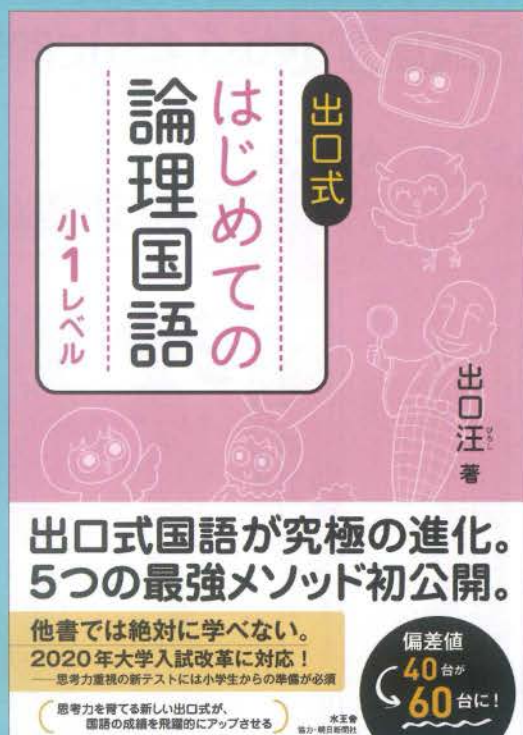
Q 問題数が多いが、それはなぜですか？

A たとえば数学でも、一度公式を見たからといって、実際に問題をこなさなければ本当に身についたといえないでしょう。同じように、言語の技術を使いこなすようになるまでには、ある程度の訓練期間が必要です。論理エンジンでは、これを習熟と呼んでいます。本教材は、文章の読み方、言葉の使い方そのものを変え、無意識に、即時に対応できるようになるために様々な角度・難易度・出題方式で訓練します。そのために問題量が多くなっていますが、習熟するには必要なプロセスなのです。

出口の小学国語決定版

はじめての論理国語

小1レベル～
小3レベル



2020年大学入試に対応!

数々の新機軸を打ち立ててきた
出口式国語が究極の大進化!



最強メソッド 初公開!

国語こそがすべての基礎である。
「日本語の規則」を習得すれば、
学力は必ず伸びる!



従来型学力から21世紀型学力へ

21世紀型学力の追求は今や世界的な流れとなりました。その中核を担うのがクリティカル・シンキングと呼ばれる「正解は一つではなく、複眼的に考えて現実の中での最適解を導き出す」生きた思考力を身につけさせる試みです。それに伴い、文部科学省は既存の国語教育の改革に着手し始めました。大学入試もその流れに沿って、従来の暗記・読解中心の試験から、自らの頭で主体的に考え、表現する能力を問う試験に変わります。

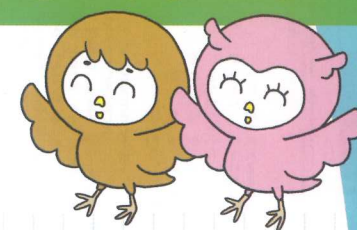
現在、小学低学年の子どもが将来の入試で要求される力を身につけるには、これまでの学習では到底、無理です。本書はクリティカル・シンキングをはじめとして、21世紀型学力に対応した他にはないはじめての問題集なのです。

出口 汪



他書では学べない革新的メソッドとは？

小学一年生から
「論理」を学べる
画期的な問題集



日本語の規則を意識すれば、学力は必ず伸びます。
抽象概念がなく、文法的な知識がない子どもでも、言葉の規則を理解して
論理力がつくように開発されたのが、「はじめての論理国語」なのです。

出口式オリジナルメソッド

主語・述語

「文の要点」とは主語・述語であり、特に述語に強調したいポイントがきます。主語と述語を正しくとらえることは、文の要点を把握・認識することです。

イコールの関係

A 筆者の主張 = A' 具体例・引用・比喩など

イコールの関係を理解すると、説明文の読解で筆者の主張を読み取ったり、比喩表現や引用文による言い換えを見抜く力が飛躍的に向上します。

対立関係

A 筆者の主張 ↔ B 対立するもの 比較するもの

筆者は、主張を際立たせるために、あえてそれと反対のものを持ち出して比較することでよりわかりやすくすることがあります。比べることによって「言いたいこと」を強めるのが対立関係です。

因果関係

Aがあった → Bが起こった
Bが起こった ← Aがあったからだ

因果関係とは「原因と結果」を示す関係のことです。因果関係の力は入試において、年々比重を増す小論文などで自分の主張をしっかりと伝える能力、また、クリティカル・シンキングにつながっています。

受験

作文・小論文作成

面接

偏差値アップ

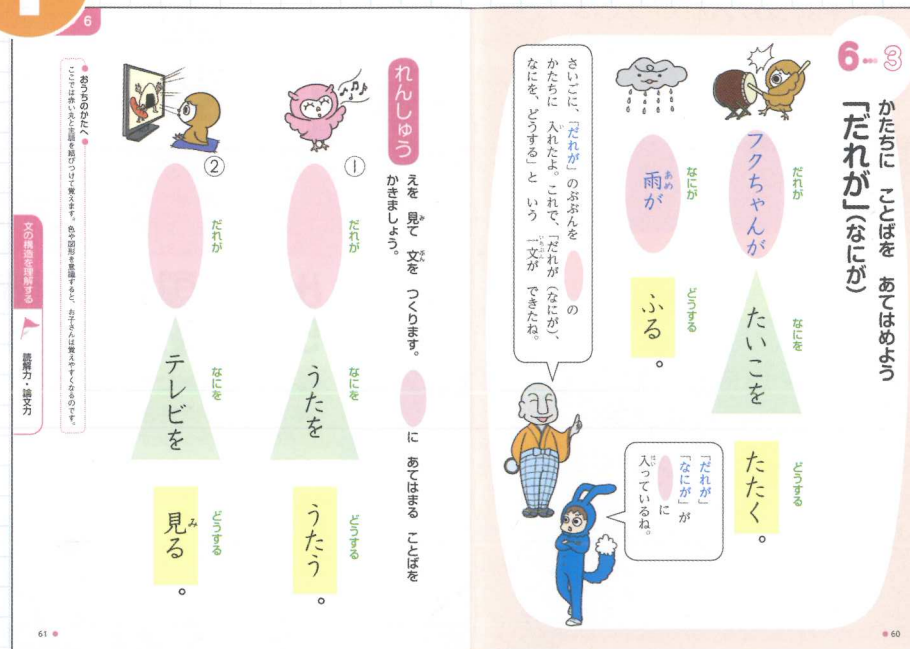
論理力

- 主語・述語
- イコールの関係
- 対立関係
- 因果関係

ポイント

1

主語・述語（・目的語）を の形で認識！



どんな難しい文でも、要点は主語、述語、目的語です。文法知識がない低学年でも直感的にこれらを認識することで、文の要点について理解することができます。

ポイント

3

子どもの論理力を飛躍的に向上させる「論理トーク」

実践！論理トーク①「イコールの関係」

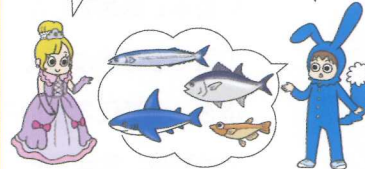
たとえば なに？

なかまたち（具象）	まとめる ことば（抽象）
りんご、バナナ、メロン、みかん、すいか	くだもの
サッカー、バスケット、野球、テニス	スポーツ

Let's トーク！

なかまの ことばを きいて、まとめる ことばを いえるかな。

おきかなといえ、たとえば？ マグロ、サンマ、サメ、メダカ...



どの ページの「マグロ、サンマ、サメ、メダカ...」は、まえにある「おきかな」という ことばを いいかえて いるんだね。では、もんだい。下の ものの なかまの 名まえを 3つずつ こたえてね。

・とり いえ、たとえば？

・おかし いえ、たとえば？

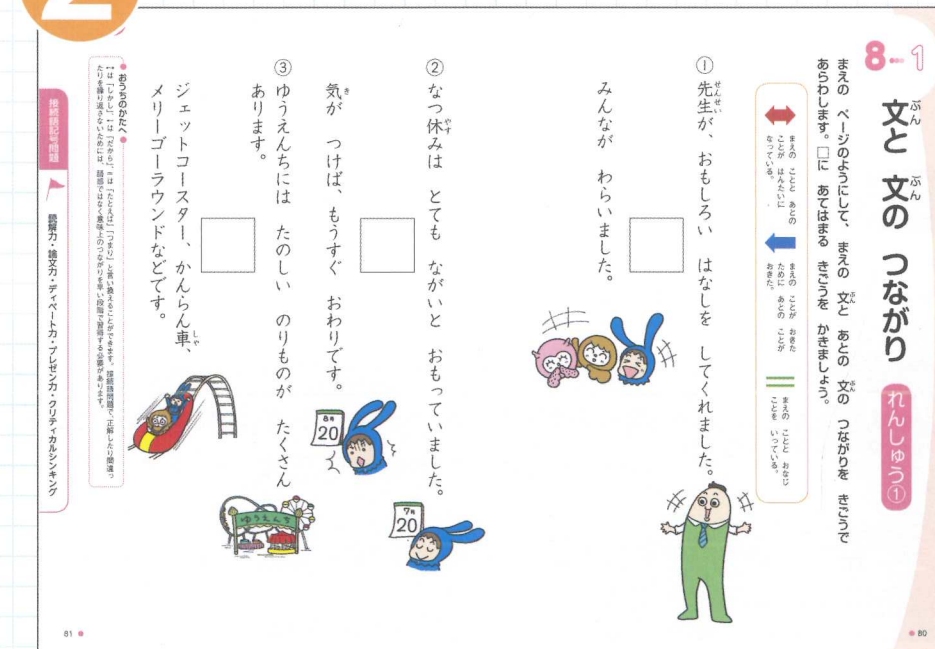
・しては いけないこと いえ、たとえば？

・うれしいこと いえ、たとえば？

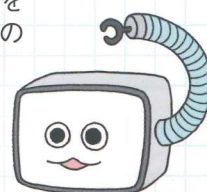
ポイント

2

接続語を の記号でマスター



本書では、二文の論理的な関係を理解するために「三つの関係」を記号で表現。感覚的に言葉を答えるのではなく、前の文と後の文の関係を記号でとらえさせるトレーニングをします。



実践！論理トーク③「因果関係」

「なぜなら」で こたえよう

Let's トーク！



回答のルール

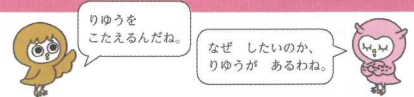
本書の質問を実際にお子さんに問いかけてください。その際のポイントには以下の2つです。

1. 主語・述語は必ず入れる。

2. 結論を先に言い、ついで理由を述べる。

はい。ぼくは こうえんに いきたいです。

なぜなら、ジャングルジムの いちばん 上まで のぼってみたいからです。



答えるかたへ

論理トークの中で最も重要なのが、「因果関係」の質問です。

理由を問う質問を繰り返すたびに、「何となく」考える癖をなくします。

低学年のうちは答える内容の良し悪しよりも、当座即答でよいので、素早く答えることを重視してください。理由を答えることに慣れさせることが目的だからです。

この「回答のルール」が守られていれば、いっしょに楽しみながら、答えを導き出しましょう。

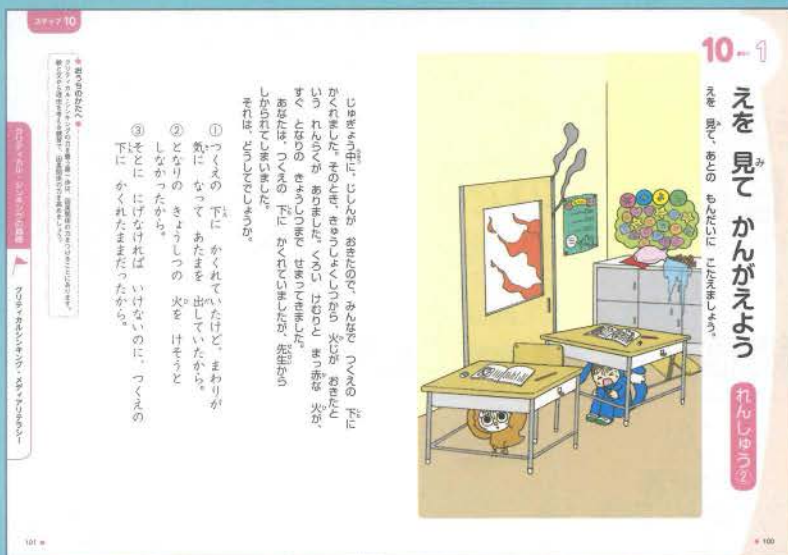
「希望（～したいですか？）」「好き（好きですか？ 嫌いですか？）」についての質問は、答える負担が軽いようです。

どのような質問であってよいかわかりません。テンよく、できるだけ多くの質問をしてあげましょう。

慣れてきたら、「善悪（論理的質問）」「可能性（できると思いますか？）」などの質問をしていきましょう。答えるには時間がかかりますが、クリティカル・シンキングやディベートの力が養われます。

簡単なルールにしたがって、親と子、指導者と生徒で会話することで、生きた会話の中で、論理力をきたえます。楽しみながら、自然にディベートやプレゼンテーションの基本が身につきます。

時代は「クリティカル・シンキング」へ



クリティカル・シンキングとは

誰かの言葉を鵜呑みにせず、自分の頭で物事を深く分析して多角的にとらえ、最適な解答を導き出す生きた思考力のことです。

クリティカル・シンキングの基礎は、判断力をつけることです。現状をどう分析するか、それは原因と結果を推察する力が基本となります。与えられたものを無批判に受け入れるのではなく、本当かどうかを疑うきっかけとなる問題を出题しています。

スパイラル学習とゴールイメージ

スパイラル学習

本当の学力をつけるには、ひとつの学習テーマについて、原理・原則をに立ち返って学習を繰り返すことが必要です。つまづいた問題は、指示のある学年レベルに戻って学習できるように「スパイラル学習方式」を採用しました。

ゴールイメージ

学習者のモチベーションを上げるため、将来に向かってのゴールイメージを明確にしました。

	文の要点	イコールの関係	対立関係	因果関係
1年	主語と述語をみつける	単語レベルで具体と抽象を学ぶ	単語レベルで反対の言葉をみつける	論理トークで理由を言えるようになる
2年	短い一文の要点をまとめる	文中にある単語の具体抽象をみわける	反対の意味の文を作る	意見の理由を適切に述べる
3年	長い一文の要点をまとめる	文中の具体例とまとめる言葉を的確にとらえる	文中で対立している言葉をとらえる	意見に対して複数の理由を適切に述べることができる
ゴールイメージ	たとえば 記者のようなレポート力	たとえば 一流大に受かる読解力	たとえば 選挙で戦えるディベート力	たとえば 学者顔負けの論文力

お問い合わせ・ご用命は
下記まで

日本全書

電話 06-6967-4687
FAX 06-6967-4688
e-mail zensho@beach.ocn.ne.jp



コトバノチカラ。
株式会社 水王舎

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-15-1 ラトウール新宿511
【電話】 03-5909-8920 【FAX】 03-5909-8921
【Mail】 info@suiohsha.jp www.suiohsha.jp